プロジェクトマネジメント演習

滞在管理アプリ作成プロジェクト

プロジェクト憲章

メンバ

PM 1242132　若月　純

1242042　斎藤　勇也

1242116　森谷　慧士

提出日：2014年6月2日

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| PM確認印 | シニア確認印 | ユーザ確認印 |
|  |  |  |

目次

[1. プロジェクト名 3](#_Toc389507405)

[2. プロジェクトの目的 3](#_Toc389507406)

[3. プロジェクトの要求と成功基準 3](#_Toc389507407)

[4. 主な成果物 3](#_Toc389507408)

[5. 要求事項 3](#_Toc389507409)

[6. 前提条件と制約条件 4](#_Toc389507410)

[7. ハイレベルのプロジェクト記述と境界 4](#_Toc389507411)

[8. ハイレベルのリスク 4](#_Toc389507412)

[9. マイルストーン 4](#_Toc389507413)

[10. ステークホルダ 5](#_Toc389507414)

[11. プロジェクト承認要求事項 5](#_Toc389507415)

[12. 任命されたプロジェクトマネージャ，その責任と権限レベル 5](#_Toc389507416)

[13. プロジェクト憲章を許可する，スポンサーあるいはほかの人物の名前と地位 6](#_Toc389507417)

表目次

[表 1　要求事項 3](#_Toc389506928)

[表 2 リスク 4](#_Toc389506929)

[表 3 マイルストーン 5](#_Toc389506930)

[表 4ステークホルダ 5](#_Toc389506931)

[表 5 シニアマネージャの権限と責任 6](#_Toc389506932)

[表 6 ユーザの権限と責任 6](#_Toc389506933)

# プロジェクト名

滞在管理アプリ作成プロジェクト

# プロジェクトの目的

研究室に今、誰がいるかを把握するアプリを開発すること

# プロジェクトの要求と成功基準

* 要求

滞在者を把握できる

* 成功基準

ログインした人がWEB上に表示される

# 主な成果物

* プロジェクトマネジメント憲章
* プロジェクトマネジメント計画書
* 外部設計書
* 契約書
* 中間発表スライド
* 発注書
* 内部設計書
* プログラム
* テスト報告書
* マニュアル
* 納品書
* テスト報告書
* マネジメントレポート
* PD発表スライド
* PM発表スライド

# 要求事項

1. ユーザ

* プロジェクト憲章に記載された滞在管理システムの完成

1. シニアマネージャ

* プロジェクト目標（QCD）の達成

1. プロジェクトメンバ

* システム開発についての理解
* PMBOKに基づくプロジェクトマネジメントの理解

# 前提条件と制約条件

本プロジェクトに対する前提条件と制約条件，プロダクト仕様を記載する．

1. プロジェクトの前提条件

* 管理ツールに記載された想定工数，工程計画に基づきプロジェクトを推進することで顧客との契約できることを前提に先行投資を行う
* プロジェクトメンバは全員10時間／週以上をPM演習に費やし、10週間以上継続できることを前提とする

1. プロジェクトの制約条件

* アプリ開発は演習素材を利用し，PHPを用いて行う
* プロジェクト開始時に顧客との契約は無く，外部設計終了後のコスト見積り結果に基づき契約を結ぶ
* プロジェクトメンバは当初のメンバのみで行われ，メンバの追加はない

# ハイレベルのプロジェクト記述と境界

本プロジェクトが開発するシステムの主要な機能をいかに示す

* ログイン機能
* 滞在者、非滞在者の管理機能
* ボタン押下による滞在者表示機能

# ハイレベルのリスク

表 2 リスク

|  |  |
| --- | --- |
| リスク | 対策案 |
| メンバの欠席 | 演習外で集まれる時間を作る |
| 納期遅れ | 作業時間を増やす |
| 品質の低下 | ほかの参考書を用いる |

# マイルストーン

本プロジェクトのマイルストーンを以下に記載する．

表 3 マイルストーン

|  |  |
| --- | --- |
| マイルストーン | 期限 |
| プロジェクト憲章 | 5月17日 |
| プロジェクトマネジメント計画書 | 5月24日 |
| 外部設計書 | 5月31日 |
| 契約書、中間発表 | 6月6日 |
| 発注 | 6月13日 |
| 検収 | 7月4日 |
| マネジメントレポート | 7月11日 |
| ＰＤ評価発表 | 7月18日 |
| ＰＭ評価発表 | 7月25日 |

# ステークホルダ

表 4ステークホルダ

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| No． | ステークホルダ | 氏名 | 職位 | PJ内外 | 社内外 | 関心事項 |
| 1 | ユーザ | 竹本先生 | 教員 | PJ外 | 社外 | 品質，納期 |
| 2 | シニアマネージャ | 矢吹先生 | 教員 | PJ外 | 社内 | 品質 |
| 3 | PM | 若月　純 | 学生 | PJ内 | 社内 | PJ成否 |
| 4 | プロジェクトメンバ | 齋藤　勇也 | 学生 | PJ内 | 社内 | PJ成否 |
| 5 | プロジェクトメンバ | 森谷　慧士 | 学生 | PJ内 | 社内 | PJ成否 |
| 6 | 委託先PM | 三宅　琢己 | 学生 | PJ内 | 社外 | 納期 |
| 7 | 委託先メンバ | 小池　克人 | 学生 | PJ内 | 社外 | 納期 |
| 8 | 委託先メンバ | 吉野　聡志 | 学生 | PJ内 | 社外 | 納期 |

# プロジェクト承認要求事項

(1)品質目標，納期目標

* ユーザが滞在管理システムの開発完了を承認する
* 顧客が滞在管理システムを活用して各研究室に誰が滞在しているかを把握し，入退出記録を管理システムに記録する
* 判定結果は，QCD評価報告書に記載する

(2)コスト目標

* シニアマネージャがコスト・ベースラインとプロジェクトの実績値を比較して判定する
* 判定結果は，QCD評価報告書に記載する

# 任命されたプロジェクトマネージャ，その責任と権限レベル

* プロジェクトマネージャは，プロジェクトの成否に関する包括的な責任を負う
* プロジェクトマネージャは，プロジェクトメンバの担当業務に対する指示権限を有する
* プロジェクトマネージャは，プロジェクトメンバをプロジェクトから除名する権限を持つ

# プロジェクト憲章を許可する，スポンサーあるいはほかの人物の名前と地位

シニアマネージャ

表 5 シニアマネージャの権限と責任

|  |  |
| --- | --- |
| 氏名 | 矢吹　太朗 |
| 権限 | プロジェクト書類の承認，押印． |
| 責任 | ミーティングへの参加． |

ユーザ

表 6 ユーザの権限と責任

|  |  |
| --- | --- |
| 氏名 | 竹本　篤郎　様 |
| 権限 | プロジェクト書類の承認，押印．  プロジェクト完了の承認． |
| 責任 | ミーティングへの参加．  プロジェクトに必要な情報の提示． |